

特集
2

大雨! 地震!

避難について考えてみよう

災害が発生したとき、どこに避難すればよいかが存じでしょうか。実は、風水害と大地震とでは、避難先やその開設条件、運営する人なども異なります。

自分や家族の身を守るためにも、いざというときに備え、避難先などを把握しておきましょう。

●問合せ 区役所危機管理・地域防災担当 ☎367-5611 ☎366-9657

まずは「在宅避難」を検討しよう

「在宅避難」には

- 避難(場)所での生活に比べてストレスが少ない
- 感染症のリスクを減らすことができるなど、メリットもたくさんあるんだよ!



在宅避難をするケース

地震発生時

- 自宅倒壊の危険がない
- 周囲に火災等の危険がない

風水害発生時

- ハザードマップ上、浸水・土砂災害のリスクがない
- 大雨等により、屋外に出る方が危険

災害が起きても住み慣れた自宅で避難生活を送れるよう、自宅内の安全対策や備蓄品の準備をしておきましょう。



在宅避難できない場合に備えて 風水害時と震災時の 避難先の違いを確認しておこう



防災についての詳細は、「防災よこはま」をご覧ください。

- 入手場所
- 区役所3階39番窓口
 - 横浜市ウェブページ
- 防災よこはま 検索



風水害のとき（大雨や台風）		震災のとき（大地震）	
浸水ハザードマップで、自宅が危険区域内に入っているかどうか確認しておきましょう。 入手場所 ● 区役所3階39番窓口 ● 瀬谷区ウェブページ 瀬谷区 ハザードマップ 検索 		お互いの安否確認ができるよう、家族や地域内で、一時的に集合する場所を決めておきましょう。 	
指定緊急避難場所 瀬谷小学校に変更になりました ①境川に浸水被害が予想される場合 ▶上瀬谷小学校、瀬谷中学校、瀬谷第二小学校 ②区内複数河川に浸水被害が予想される場合 ▶①の場所 + 原小学校 ③浸水被害に加え風による被害が予想される場合 ▶②の場所 + 三ツ境小学校、二つ橋小学校 ※災害規模などにより、上記以外を開設する場合があります。 最新の開設状況は瀬谷区ウェブページ等でご確認ください。 		指定緊急避難所（地域防災拠点） ▶ 指定された区内15の学校 瀬谷区区民生活・防災マップで、ご自分の地域防災拠点を確認しておきましょう。 入手場所 ● 区役所3階39番窓口 ● 瀬谷区ウェブページ 瀬谷区 地域防災拠点 検索 	
横浜市や瀬谷区が避難情報を発表 レベル3 高齢者等避難 レベル4 避難指示 レベル5 緊急安全確保 警戒レベル4までに必ず避難！ 災害が発生または切迫し、安全な避難ができません。		市内1か所でも震度5強以上を観測 	
行政職員（区職員） 避難した人にも協力をお願いしています。 		各地域防災拠点の運営委員会を中心に避難した全ての人 	
原則なし 必要なものは自宅から持参してください。 		最低限の水と食料などはあり 自宅に備蓄しているものを持参しましょう。 	
● 頑丈な建物の2階以上 ● 危険区域外の親戚宅や友人宅		その他の避難先 ● いっとき避難場所 ● 広域避難場所 	

「横浜市避難ナビ」を活用しよう



災害時には、事前に登録した情報に基づき、避難情報がプッシュ通知されます。また、開設している避難(場)所や避難ルートを確認できます。

※アプリは、右の二次元コードからダウンロードできます。

※詳細は、横浜市ウェブページをご覧ください。

横浜市避難ナビ 検索

